

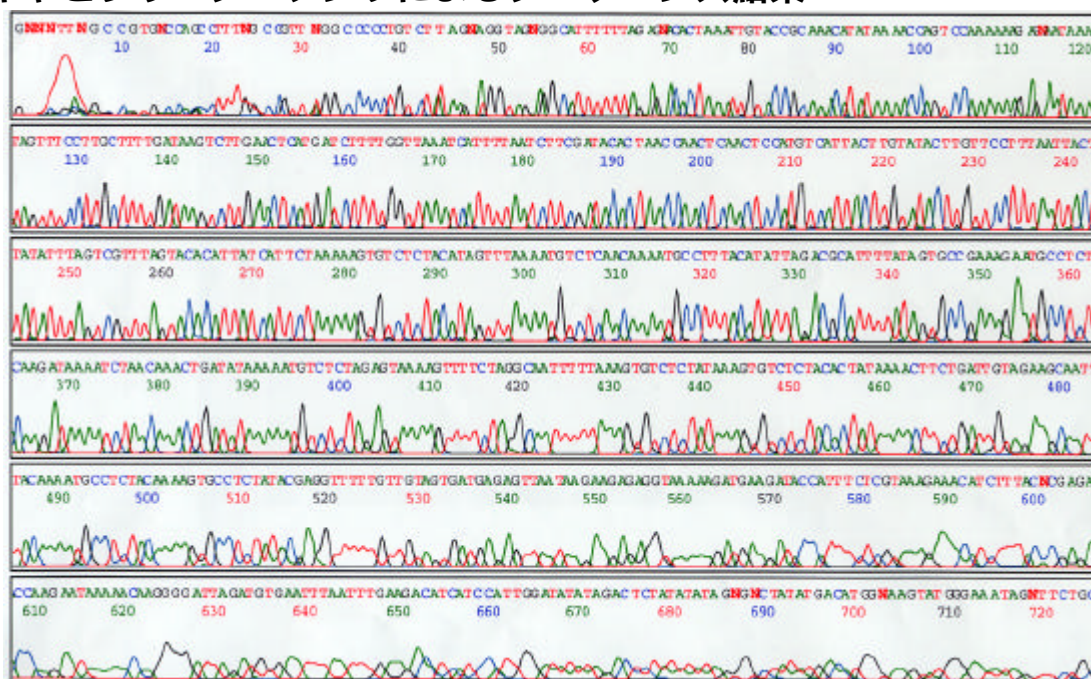
himac APPLICATION

プラスミド DNA 抽出システムで MultiScreen™(ミリポア)を用いて自動精製したプラスミド DNA のキャピラリーシーケンサによるシーケンス結果

ゲノム解析用 MG768 形プラスミド DNA 抽出システム

遠心法を用いた多検体処理自動機である MG768 形プラスミド DNA 抽出システムで、MultiScreen™(ミリポア)が処理可能となりました。これにより、MultiScreen™ F B プレートを用いたプラスミド DNA の抽出が 1 時間で 96 サンプル、連続 8 時間処理で 786 サンプル処理でき、キャピラリーシーケンスできるプラスミド DNA を平均 5 µg 抽出できます。遠心法を採用しているため、大腸菌培養液から自動処理でき、またフィルタ吸引処理に起きる目詰まりの心配がありません。MultiScreen™ F B プレートのみでの使用ですのでランニングコストも安価です。

1. キャピラリーシーケンサによるシーケンス結果



本データは農水省生物研・STAFF 研究所 イネゲノム研究チームのご提供によるものです。

- * シーケンサ : ABI PRISM 3700 DNA analyzer
- * サンプル量 : 2 µl/80 µl
- * 反応試薬 : ABI PRISM® Big Dye Terminator cycle Sequencing Kit
(AmpliTaq® DNA polymerase, FS(PE Biosystems))
- * 泳動条件 : polymer POP5 , 1 × Running Buffer for 3700

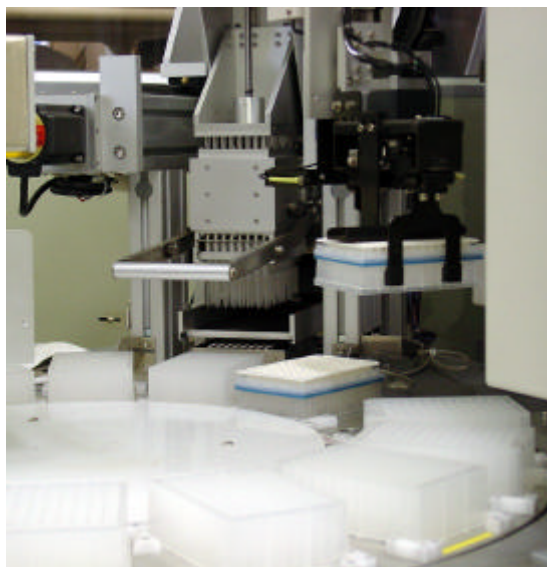


図1. MultiScreen™ F B フィルタ処理中の MG768 形プラスミド DNA 抽出装置

2. 抽出プロトコール

96 穴ディープウェルプレートで培養した大腸菌培養液 1~1.5ml を遠心により集菌し、デカントアスピレーションにより培養液を除去する。

菌体を懸濁後、アルカリ-SDS 法により菌体を処理し、遠心によりプラスミド DNA とデブリスを分離する。

遠心後の上清を MultiScreen™ F B プレート上に移し、遠心によりプラスミド DNA を F B プレートに吸着させる。

80%エタノールで洗浄後、F B フィルタを乾燥させ、滅菌 TE バッファまたは滅菌蒸留水にてプラスミド DNA を溶出させる

(参考資料): himac APPLICATION No.98 , No.99

なお、本資料に関するお問い合わせは日立工機(株)精機事業グループ営業部(Tel 03-3504-7717)まで、お願い致します。

日製産業株式会社

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目 24 番 14 号
科学システム営業本部 電話(03)3504-7211(ダイヤルイン)

事業所

北海道(011)221-7241	新潟(025)241-3011	関西(06)6366-2551
東北(022)264-2211	北陸(0762)63-3480	中国(082)221-4514
筑波(0298)23-7391	中部(052)583-5841	四国(0878)-62-3391
横浜(045)451-5151	京都(075)241-1591	九州(092)721-3501

日立工機株式会社

本社工場 〒312-8502 茨城県ひたちなか市武田 1060 番地 電話(029)276-7384(ダイヤルイン)

インターネット <http://www.hitachi-koki.co.jp/himac>
最新情報にアクセスして下さい。

日立遠心機お客様相談センター(フリーダイヤル)0120-02-4125